

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 立命館守山高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒 524-8577
滋賀県守山市三宅町 250 番地

E-mail _____

Website http://www.ritsumeit.ac.jp/mr

児童生徒数 男子 447 名 女子 457 名 合計 904 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☒ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. SSH（スーパーサイエンスハイスクール校）としての取り組み

①水環境探究ワークショップ（8月19～21日）

本校は2010年2月に「高校生国際みずフォーラム in 湖国・滋賀（以下 IWF）」を開催、世界8カ国20校の高校生たちと「世界の水問題にどう関わるか」をテーマに、「水と科学」「水と生物」「水とくらし」の視点から研究発表を行い、共同宣言を世界に発信し、高い評価を得た。

本校ではこの取り組みを独自に発展させ、本年度は「水環境探究ワークショップ」を実施。国内から3校14名の高校生を迎え、滋賀県琵琶湖環境科学センターの研究員の指導の下、琵琶湖南湖の人工湖岸と砂浜湖岸における水環境の違いを比較した。仮説を立て、科学的に検証・考察し、新たな問いを発見する過程で、研究のおもしろさ、難しさなどを学ぶ場を作ることができた。

2. 公民科 現代社会（高校1年生必修） 2単位

①夏季休暇中課題として、JICA 中学生・高校生エッセイコンテストに全員が出品。

＊以下の賞を受賞

- ・国際協力特別賞（1名）
- ・関西国際センター所長賞（1名）
- ・佳作（1名）
- ・学校賞

3. 総合学習 高校2年生（アカデミアコース）海外研修（事前・事後学習を含む） 期間：10日～12日間

①フロンティアスピリット・プログラム

1) 語学研修・ホームステイ 研修地：カナダ

派遣先での英語研修とその活用を目的とした参加体験型の活動を通して異文化交流と実践的語学力を身につける。また旅程の一部を計画させることで企画力や実行力を養う。

2) グローバルリーダー 研修地：ボストン

MIT公認メソッドを用いたワークショップを通して、グローバルリーダーを育成する。

3) スポーツアスリート 研修地：フロリダ

世界最高水準の施設および一流コーチ陣のもと最先端のスポーツスキルを学ぶとともに、スポーツを通じて英語力の向上を図る。

②アカデミックリサーチ・プログラム

1) インターンシップ 研修地：シカゴ、シアトル

派遣先でのスクーリング後、海外現地企業等でインターンシップ（就業体験）やリサーチを行い、グローバルな視野と実践的英語力を身につける。

2) 理系フィールドワーク 研修地：タスマニア

派遣先でのスクーリング後、環境等をテーマとしたワークショップ（調査・

研究・発表)を体験し、英語によるアカデミックスキルズを身につける。

③国際ボランティアプログラム 研修地：バンコク

国際 NGO ハビタット・フォー・ヒューマニティーの活動(住居建築)を通じて、「貧困」が家族や地域に及ぼす影響について学び、自分たちにできることを考えるとともに、現地の自然や文化・習慣・歴史・社会制度に関する認識を深める。

*なお、国際ボランティアプログラム(バンコクコース)の活動は、JICA グローバル教育コンクール 2015 において、団体奨励賞を受賞した。

4. 総合学習 高校1年生(フロンティアサイエンスコース)海外研修(事前・事後学習を含む)

研修地：ベトナム

ベトナムの医療・福祉施設での研修を通して、自分たちができることを考え、行動する力を養う。また、現地校数学科の高校生との共同学習を行う。

5. 学校設定科目「国際協力」(高校3年生必修) 1単位

①計4回にわたり、国際協力の第一線で活躍する各分野の経験者を招き、講演会を行った。

講演団体：NGO フリーザ・フィル・イン・ジャパン/NPO 法人 AWPS/外務省 ODA 出前講座/JICA 関西/NPO 法人ユナイテッドアース/H. I. S エコツアーデスク/味の素

*うち1回は JICA 関西を訪問し、隣接する「人と未来防災センター」も見学。

②「自分たちにできる国際協力」と題し、各グループで国際協力プランを策定しプレゼンテーションを実施。

③ボランティア活動の実施

授業を通じ、ボランティア活動に取り組みたい有志を募集。2015 年 12 月 22 日(火)~25 日(金)にかけて、14 名で福島県でのボランティア活動を実施。今年度で5回目の実施となる。

活動場所：石巻市、檜葉町

活動内容：開成団地訪問、檜葉町の魅力発見と地域の人々との交流

④フェアトレード商品の企画・販売

国際協力プランを提案した1グループが、株式会社ココウエルと共同でフェアトレードのココナッツオイルを使用したリップクリームを企画・販売。フェアトレード商品は、高品質であるものの、高価であるため中高生など若い世代が手にしづらいという課題がある。メンバーらは、同じ世代である自分たちが商品を企画し PR することでフェアトレード商品を身近に感じてもらい、購入することが国際協力につながるということを広く伝えたいと考え、活動を実施。2016 年 2 月 14 日(日)より、商品名「ココラボリップ」として、滋賀県・京都府・大阪府の雑貨用品店と附属中高の購買で販売。

*NHK、読売新聞、京都新聞他、メディアからの取材多数。

⑤上記③④の学びを「アカデミックプレゼンテーション(校内学術成果報告会)」で報告。

6. 国際交流活動

①学校訪問

1) 台湾高雄市中正高校（教育協定締結校）

2015 年 10 月 19 日（月）生徒数：34 名（男子 14 名、女子 20 名）引率教諭：4 名
授業参加と交流活動

② 国際プログラム参加者

1) さくらサイエンス プロジェクト：5 月～8 月複数回実施 日本 4 名 アジアの高校生によるサイエンスをテーマとした交流活動

2) 日英 Science workshop：2015 年 8 月 2 日～8 月 7 日 日本 4 名 日英の高校生によるテーマ別ワークショップ（於：京都大学）

3) ミシガン交流プログラム：アメリカ・日本 8 名

【前半】2015 年 7 月 20 日～7 月 31 日 アメリカ・ミシガン州（五大湖）

【後半】2015 年 8 月 2 日～8 月 12 日 日本・滋賀県（琵琶湖）・京都

「外来種」をテーマに理系の協働活動と文化交流

4) World Youth Meeting：2015 年 8 月 7 日～8 月 8 日 日本：3 名

台湾の生徒と本校生徒との協働活動（開催地：日本）

5) AIU 高校生国際交流プログラム：2015 年 7 月 19 日～8 月 10 日 アメリカ 1 名 米国生徒との協働活動・文化交流・社会見学

6) ASEP：2015 年 12 月 23 日～12 月 30 日 台湾 6 名

台湾の生徒と本校生徒との協働活動（開催地：台湾）

7) UBC 研修：2016 年 1 月 2 日（土）～ 3 月 27 日（日）カナダ 3 名

カナダ The University of British Columbia におけるアカデミックスキル習得プログラム

8) DCU 研修：2016 年 3 月 3 日（木）～ 3 月 27 日（日）アイルランド 1 名

アイルランド Dublin City University におけるアカデミックスキル習得プログラム

7. ユネスコ委員会活動（校内生徒有志組織）

①外部セミナーへの参加

・ JICA 開発教育入門セミナー（6 月）

・ JICA 国際教育セミナー（7・8 月）

・ 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー（8 月）

・ ワンワールドフェスティバル for youth（12 月）

② JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト出品

③ ワンワールドフェスティバル for Youth

生徒実行委員会（2 名）、活動報告会（7 名）、コンペティション大会（6 名）

本校企画トークセッション&ビデオメッセージ「リアルな世界に触れよう ～元少年兵が伝えたいこと～」実施

④ ユニセフ外貨コイン募金活動

8. サイテック部による活動（部活動）

「大川活用プロジェクト」という旧野洲川南流である大川を「里川」に再生させていく取り組みを地域自治会・守山市・京都大学東南アジア研究所と共同で取り

